

企画総務委員会 送付 7－20

選択的夫婦別姓制度を求める意見書に関する陳情

受付年月日 令和 7 年 6 月 3 0 日

陳 情 者 提出者 1 名

陳情書

2025年6月30日

千代田区議会議長 秋谷 こうき 様

選択的夫婦別姓制度を求める意見書に関する陳情

陳情者

住所

電話

理由

選択的夫婦別姓法案の本格質疑が6月4日、実に28年ぶりに衆議院法務委員会で始まりました。法務省の法制審議会答申から29年、最初の国会請願が出されて50年です。その間、全国各地では「自分の名前で生きる自由」と選択的夫婦別姓・全国陳情アクションも行われ、2025年6月12日時点で確認できている地方自治体の賛成意見書数は525件です。

把握できる限り最初の意見書は、東京都江東区議会の1992年10月14日に全会一致で可決された「選択的夫婦別姓制度の早期実現を求める意見書」です。それから30年を超える月日が流れ、未だ法制化されていません。

前区議会においても「法制化を求める陳情」に、意見は色々あるが、委員会の一致をみないとして否決しています。23区のうち15区が採択しており、全会一致は過半数を超えています。

加えて 国連の女性差別撤廃委員会から、選択的夫婦別姓制度導入の法改正を求める勧告も4回受けています。

通称で十分？子どもがかわいそう？戸籍が壊れる？これらに対する答えは、1996年9月の法制審議会と民事行政審議会で答申が出ています。

同制度の実現を拒むための議論の先延ばしではなく、世論の声に耳を傾け、一日も早い法制度が実現される様、国に対して意見書を提出して頂きたいと陳情します。

